

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		レインボー・キッズ・クラブ		公表日		令和8年 2月 6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		学習室とプレイルームに分けたり、パーティションを利用したりしながら活動を行っています。	子どもたちの利用人数や活動、場面の様子によってスペースを確保・調整していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		定員基準の配置をしています。	子どもたちの利用人数や状況によって引き続き適切な職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子どもたちが理解しやすいように視覚支援を取り入れています。また必要に応じてパーティションを使用し環境調整をしています。	今後も視覚支援を行いながら誰もが過ごしやすい環境作りに努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除と安全点検を行い、環境を整えています。活動に合わせて部屋を使い分けながら調整しています。	今後も子どもたちが過ごしやすい環境となるように努めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの様子や状況によって柔軟に対応できるようにしています。	無理のないように必要に応じて今後も使用できるようにしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		日々のミーティングや毎月の会議での話し合いにて支援の振り返りや意見交換を行っています。	今後も継続して業務改善に努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所評価にてご意向を把握できるようにしています。	事業所評価の結果を真摯に受け止めて、業務改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングや毎月の会議、必要場合は意見交換を行っています。	今後も協議を重ねながら業務改善に繋げていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現時点では行っておりません。	今後の課題として検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		支援に必要な様々な研修を定期的に参加しています。また、いつでも研修動画を視聴できる環境を作っています。	今後も参加しながら資質向上に努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		作成し、ホームページで公開しています。	わかりやすい内容になるよう必要に応じて改善していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメントを適切に行い、懇談等で保護者から聞き取りを行っています。ニーズや課題を分析してから作成を行っています。	引き続きニーズや課題に合った児童発達支援計画の作成に努めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で情報共有を行い、共通理解をしたうえで児童発達支援計画を作成しています。	引き続きニーズや課題に合った児童発達支援計画の作成に努めていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々のミーティングや毎月の会議で情報共有をし、共通理解をしながら計画に沿った支援を提供しています。	今後も継続して行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたアセスメントツールと日々の行動観察、職員での情報共有により確認しています。	今後も継続して行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえて必要な支援や項目を設定し、保護者様が理解しやすいように具体的な支援内容になるように努めています。	今後も継続して行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		各活動を委員会と称して職員の割り当てを行っています。また必要に応じて全職員で相談をしています。	今後も継続して行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		固定化しないようにアイデアを出し合い、内容を立案しています。	今後も固定化しないように職員で協議しながら取り組んでいきます。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動を1人1人に合わせた内容で個別支援計画を作成し、支援をしています。	今後も継続して行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前に支援内容や役割分担の確認、子どもの情報共有をしています。	より良い支援を提供できるように今後も引き続き継続して行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後に振り返りを行い、気付きや反省などの情報共有をしています。	勤務により支援終了後にできない職員は翌日に行うなど配慮をしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援経過を丁寧に記録し、次に繋ぐことができるように努めています。	今後も丁寧な記録を心がけながら支援検証・改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		事業所内会議にて個々のケース会議を開催し、半年に1回のモニタリングを通して計画書の見直しを行っています。	今後も継続して行っています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続して行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて連携を図り、支援の体制を整えています。	関係機関と連携を取りながら今後も継続して行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて支援内容の共有をしたり相互理解を深めたりしながら連携を図っています。	関係機関と連携を取りながら今後も継続して行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて支援内容の共有をしたり相互理解を深めたりしながら連携を図っています。	関係機関と連携を取りながら今後も継続して行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		必要に応じて連携を図っています。	スーパーバイズや助言を受ける機会を設けていないため今後の課題として検討させていただきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		同事業所の企業内保育所のイベントである「芋ほり」「消防車救急車見学」等に参加して交流する機会があります。	今後も継続して行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		電話や送迎時、提供記録に発達状況を伝え合い、共通理解ができるように努めています。	丁寧にコミュニケーションを図りながら今後も継続して行っています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	お子さまの特性をふまえた関わり方を知ったり見たりできるように支援の場面の観察等の機会を提供しました。	ペアレント・トレーニングは行っていませんので今後の課題として検討させていただきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や必要に応じて説明を行っています。	今後も継続して行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		懇談時に保護者様からの意向を伺い、個別支援計画を作成しています。	今後も継続して行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者様に説明を行い、同意を得ています。	今後も継続して行っています。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があった場合、必要な場合に応じて適切な対応を行っています。	今後も継続して行っていきます。不十分なことも多いため改善を図れるように努めていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	今年度は保護者同士で交流することを目的とした行事の開催はできませんでしたが、参観にて交流をする保護者様もいました。	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会の場を設けることができるようば行事の検討をしていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		必要に応じて様々な機関と連携をとり、迅速かつ適切に対応できるようにしています。	今後も速やかに対応できるように努めていきます。貴重なご意見を支援に繋げていけるように尽力していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		専用ソフトウェアのシステムやインスタグラムに発信を通して毎月の新聞や予定、活動概要を発信しています。	今後も発信を続けていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		秘密厳守を徹底しています。また、情報セキュリティ研修にも参加しています。	今後も個人情報の取り扱いには十分注意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者様に合わせた連絡方法、配慮を行っております。	今後も保護者様に合わせたコミュニケーションを行っていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		年に1度、地域住民の方を招待したイベントを開催しています。	今後も継続していきながら地域の方との交流を図っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		契約時に説明を行っています。発生を想定した訓練を年間を通して計画的に実施しています。	今後も引き続き保護者様に丁寧な説明を行います。また、職員周知を徹底していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを想定し、必定期的に必要な訓練を行っています。	今後も非常災害に備えて備蓄の確認や必要な訓練を実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認をしています。必要に応じて服薬やかかりつけ医のコピーをいただいております。	今後も契約時に確認をして全職員で共有し、安心して利用していただけるように努めていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		一覧表を作成しています。食べ物アレルギーのあるお子様は職員間で共有し、除去を徹底しています。	今後も契約時に確認をして全職員で共有し、安心して利用していただけるように努めていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		必要な研修や訓練を行っています。年間を通して安全計画を作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時や内容に変更があった場合、非常時が予想される場面にご家族との連携が図れるようにその都度周知をしています。	今後も継続して行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々の支援後にヒヤリハットを振り返り、記入しています。事業所内会議や必要に応じて情報共有や話し合いをしています。	今後も継続して行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に虐待防止の研修に参加しています。また、事業所会議にて振り返りを行っています。	今後も継続して行い、虐待防止に努めていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現在は該当者がいませんが、身体拘束について定期的に研修を行い職員に周知しています。	必要な場合は保護者と十分に話し合い、対応していきます。